

2012年12月18日

mail ニュース

No.11・通巻286

都知事選特集

自治労連

都庁職

自治労連都庁職員
労働組合

発行人 風間隆行
TEL 03-5381-0250

宇都宮健児候補善戦・健闘、引き続き都政転換に向け奮闘しよう！

東京都知事選挙の結果について

2012年12月18日 自治労連都庁職執行委員会

12月16日に投票が行われた東京都知事選挙の結果は、自治労連都庁職が推薦した宇都宮健児候補が968,960票（得票率14.58%）の得票を獲得し、善戦・健闘しましたが当選には至らず、石原都政の継承を掲げた猪瀬直樹候補の当選を許す結果となりました。

今回の都知事選挙では、13年余りに及ぶ都民や職員に犠牲を強い、大企業を優先する石原都政の継承を許すのか、都民の福祉の増進という自治体本来の役割を果たす都政への転換を求めるのが厳しく問われました。

自治労連都庁職は、石原知事の国政への復帰を理由とする任期途中での都政投げ出しを厳しく批判するとともに、都政転換の絶好のチャンスと位置づけ、革新都政の実現をめざし、11月20日の執行委員会で「人にやさしい東京をつくる会」から立候補表明した宇都宮健児候補の推薦を決定しました。さらに、自治労連都庁職に参加する全支部で推薦の決定がされました。選挙の取り組みでは、東京自治労連を事務局とする「革新都政を実現する全都自治体労働者の会」に結集し、都庁前での宣伝行動をはじめ駅頭宣伝行動や職場内外での支持拡大の取り組みなど各支部の協力も得て、全力をあげて闘ってきました。

宇都宮候補が訴えた「人にやさしい東京をめざす4つの柱」は、都民のいのちや暮らし、安全・安心の都政実現を求める多くの都民への共感を広げましたが、石原知事の突然の辞任という短い期間での選挙戦となったことや衆議院の解散・総選挙と重なり、都知事選挙での政策論争がほとんど交わされず、都民に十分に浸透させることができませんでした。こうした極めて制約された選挙戦の中で、宇都宮候補が獲得した得票は、革新都政の実現をめざす候補者としては、この間の最高の得票であり、今後の都政転換への展望を切り開く貴重な到達点を築いたものといえます。

宇都宮健児候補は、選挙結果を受けた記者会見で「自分の政策を多くの有権者に十分に伝えきるといふことには難しさを感じた。支援の輪が広がり、つながりができたことは大きな成果。掲げた公約に引き続き取り組み、支援してくれた人たちにこたえたい」と述べています。

宇都宮健児都知事による都民・職員本位の都政実現をめざして奮闘していただいた各支部組合員の皆さんに、心より感謝を申し上げます。自治労連都庁職は、石原都政継承の猪瀬都政の悪政の強行を許さず、都知事選で掲げた公約の実現をはじめとした自治体の役割を果たせる都政の実現と誇りと働きがいを持てる職場環境への改善に向け、都民や民主団体との共同を発展させ、闘いを一層強化するものです。

以上